

## ブバルディアの「東京スター」シリーズ3品種 —伊豆大島特産花きの再興を目指して—

宮下 智人

東京都農林総合研究センター 園芸技術科

### 1. はじめに

ブバルディアは伊豆大島（東京都大島町）の特産切花で、農業産出額の第一位を占める基幹品目である。温暖な気候を生かして周年生産され、東京都中央卸売市場では大島産のシェアが50%以上を占める。しかし、近年の生産額は最盛期（4億円）の10分の1まで減少しており、産地を維持するだけでなく、島の活性化を図る上でもブバルディア生産の再興が求められている。

大島での生産量減少の要因として、栽培の主流となっている海外育成品種の利用許諾料のコスト増大や、切り花価格の低迷、生産者の高齢化、頻繁な防除作業などによる重労働などが課題となっている。また、海外育成品種の中には大島の栽培環境や国内の消費ニーズにマッチしていないものも存在する。そこで東京都では、生産と消費の双方で魅力あるブバルディアの生産を支援するため、大島で栽培しやすく、海外品種と同等以上のクオリティをもつ東京オリジナル品種の開発に着手した。

なお、この品種開発では、都の研究機関（農林総合研究センター、鳥しょ農林水産総合センター）および行政機関、大島のブバルディア生産者、種苗メーカー、大学が密に連携・協力し、産学公が一体的に取り組むことで、新品種の効率的な育成と効果的な普及を目指した。

### 2. 育成経過と品種特性

ブバルディアの品種改良は実質的にオランダの一部の会社でのみ取り組まれてきたため、育種技術に関して公表されている情報はこれまでほとんど無かった。そこで、まず遺伝資源の収集・評価と育種手法の確立を行い、次いで新品種の開発を目指すこととした。

2012年からブバルディアの遺伝資源の収集を開始し、国内外から原種、海外育成品種、大島在来品種計

20種類を収集した。これらについて、千葉大学との共同研究により染色体数や倍数性レベルを明らかにし、さらに開花習性や雌雄の稔性程度など育種上の重要な特性を評価して、育種素材として使えるものを明らかにした。また、多様な組み合わせでの交配や有望個体の効率的な作出と選抜を可能にするため、ブバルディアにおける倍数性育種と交配育種の手法を確立した。

これらの成果をもとに、2014年から原種、海外育成品種および在来品種の倍数体を用いて約100組み合わせの交配を行い、約3,700個体を作り出した。この中から花の色や形、花着きなどに優れる約200個体を一次選抜した。2016年から、鳥しょ農林水産総合センターや生産者の協力のもと、大島で一次選抜個体の栽培評価を行い、さらに選抜を進めた（図1）。選抜を完了した第1期3品種を品種登録出願し、2019年8月に出版公表された。

本3品種には、星形の華やかな花のイメージと、大島のブバルディア生産を夜空の星のように輝かせてほしいという願いから、「東京スター」とシリーズ名を冠し、各々「シルキーホワイト」、「クリアピンク」、「パールピンク」と命名した（図2）。

本3品種はいずれもブバルディアらしい可憐な美



図1 伊豆大島での栽培評価の様子



**東京スター  
シルキーホワイト**  
(品種登録出願番号33764)



**東京スター  
クリアピンク**  
(品種登録出願番号33765)



**東京スター  
パールピンク**  
(品種登録出願番号33766)

図2 第1期育成3品種

しきをもつ一重花で、アレンジに使いやすい定番色の白または桃色である。大島で長年栽培されている在来品種に比べて花が大きくボリューム感があり、樹勢が強く、高い収量が見込まれる。また花もちが良く、長く楽しむことができる。

### 3. 育成品種の活用

「東京スター」3品種は、2019年から大島での栽培を開始し、2020年からは「都オリジナル品種普及対策事業」の活用により、約2万4,000本の苗を供給して大規模な実証栽培試験を実施している。本事業では、東京都の新品種を速やかに普及し、消費者に対して訴求力のあるPR活動を実施することで、都オリジナル品種のブランド化を目指している。また、ブバルディアはウイルスフリー苗による生産を基本とするため、品種開発当初から(株)ミヨシの協力を受け、高品質苗の安定供給体制の構築を図っている。

「東京スター」3品種は、2019年から3年間は都内先行栽培とするが、2022年からは他県での栽培を解禁する予定である。他県産も含め、一定量の東京品種を市場に安定供給することで、現在はマイナーな地位に留まるブバルディアの認知度向上を図るとともに、東京品種のブランド確立を進めたいと考えている。

### 4. おわりに

今後は第2期以降として八重花を中心に新品種を

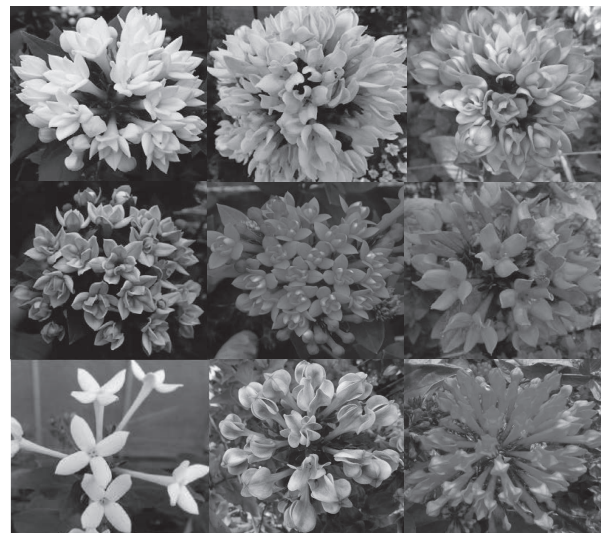


図3 第2期以降の新品種候補の花

順次育成し、最終的に花の色や形態などでバラエティのある10品種程度のシリーズとする予定である(図3)。これら新品種の普及を基軸に、大島産の競争力強化や生産性・収益性の向上、新規就農の促進などを図ることで、伊豆大島のブバルディア再興に寄与できるものと期待している。



ブバルディア新品種「東京スター」シリーズ